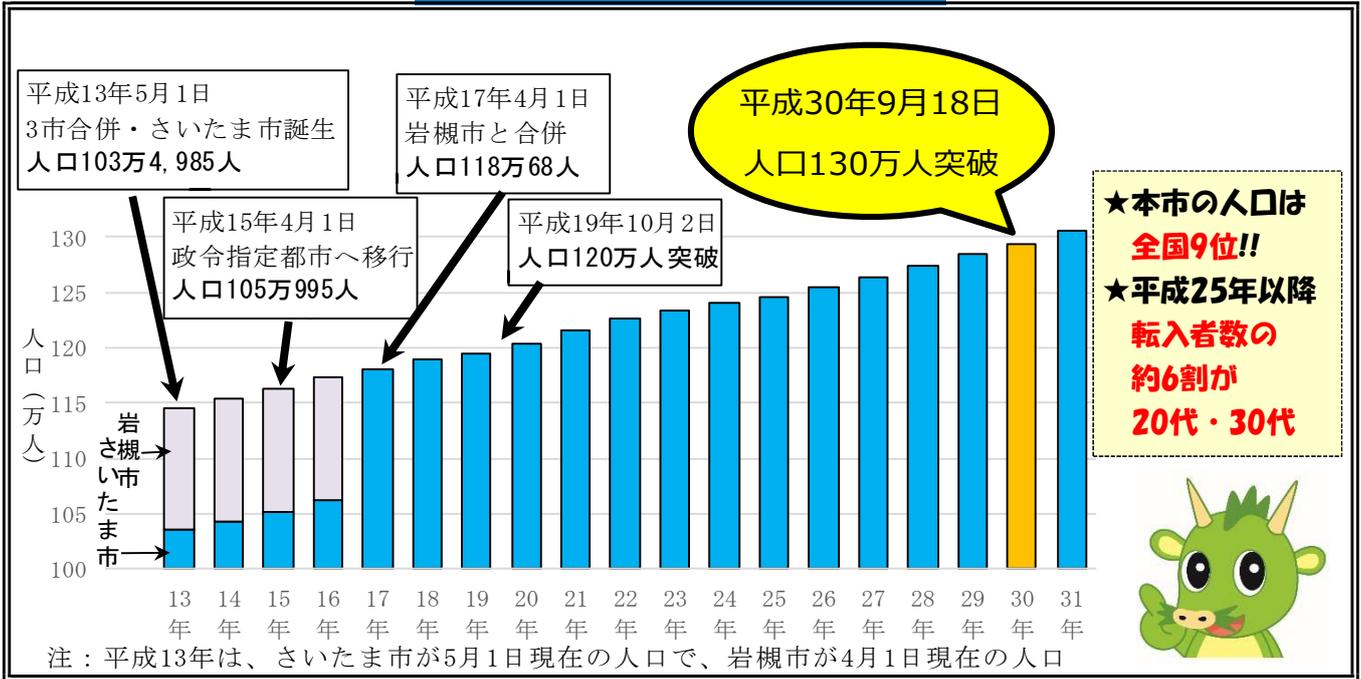
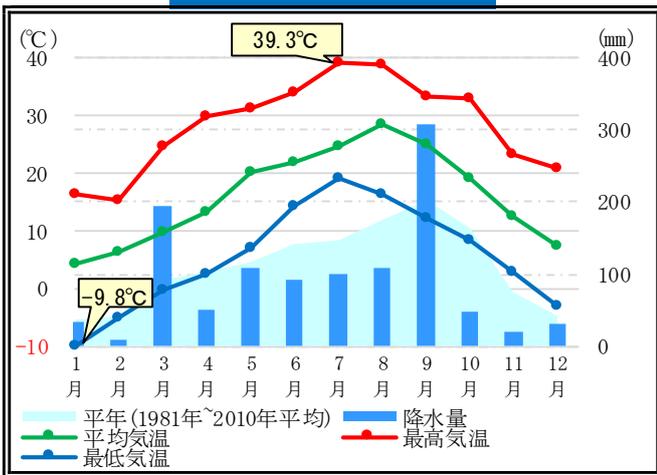


# グラフでみるさいたま市

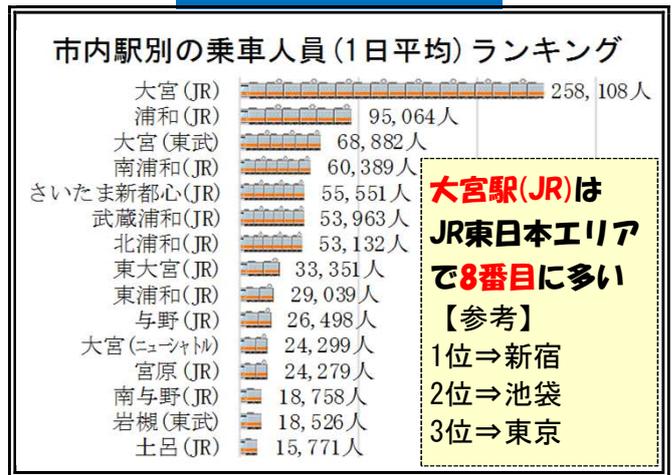
## 人口の推移(各年4月1日現在)



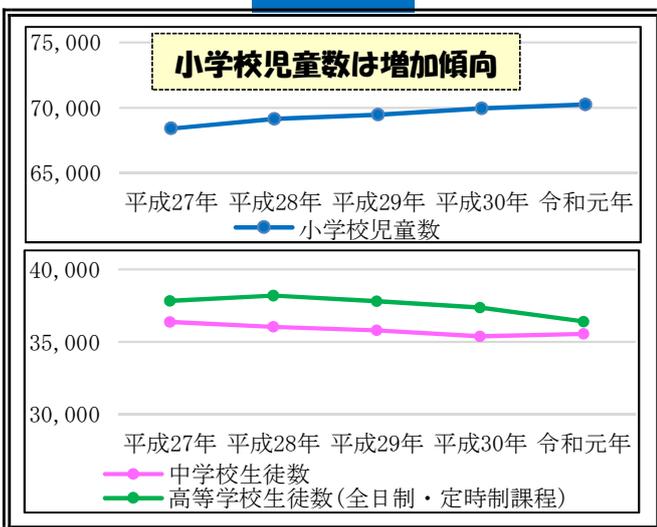
## 気象(平成30年)



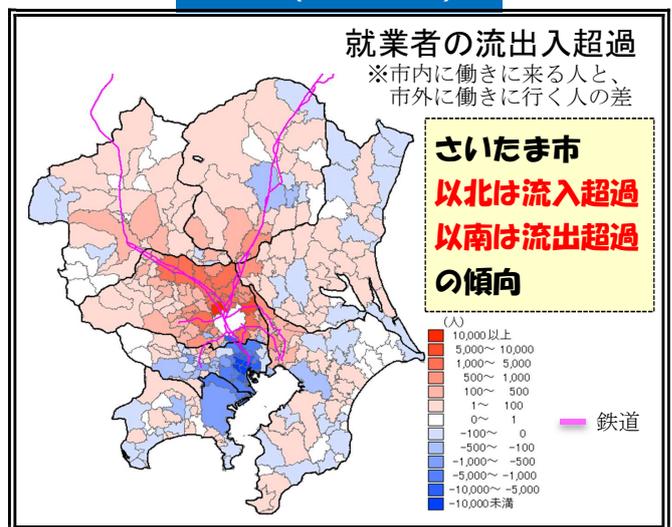
## 交通(平成30年)



## 教育



## 労働(平成27年)



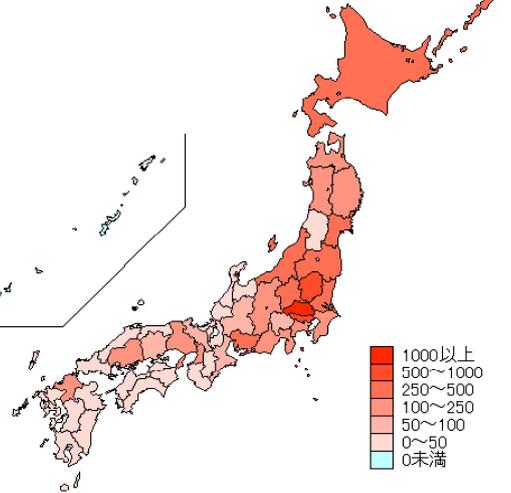
【資料元一覧】人口の推移：都市戦略本部情報政策部が作成／人口の動き：2-5（22ページ）、付録1（300  
状況：4-1（72ページ）／教育：15-3~5（212~215ページ）／労働：3-22~23（56~67ページ）

## 人口の動き(平成30年中)

人口増減数		
順位	指定都市	増減数
1	川崎市	12,429
2	大阪市	12,052
3	福岡市	11,883
4	さいたま市	10,240
5	横浜市	7,951
6	名古屋市	6,122
7	札幌市	3,109
8	千葉市	2,217
9	仙台市	2,040
10	広島市	811

人口増減数の内訳			
順位	指定都市	増減数	
自然増減	1	川崎市	2,527
	2	福岡市	1,920
	3	熊本市	△131
	4	さいたま市	△391
	5	仙台市	△506
社会増減	1	大阪市	20,535
	2	横浜市	13,538
	3	さいたま市	10,631
	4	福岡市	9,963
	5	川崎市	9,902

転入超過数  
(転入数－転出数)



★他の政令指定都市に比べて人口増加数が多い  
★さいたま市への転入超過数をみると、  
**沖縄県を除く全ての都道府県に対して転入超**



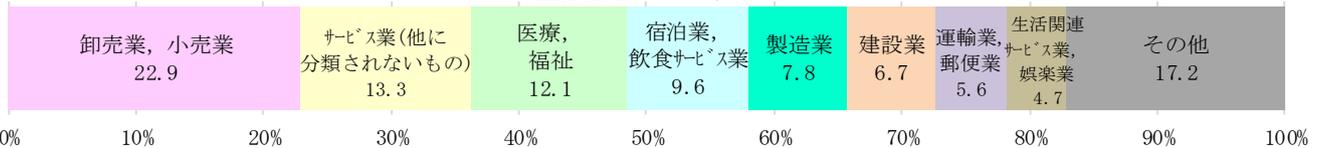
## 産業別の状況(平成28年)

産業構造をみると、事業所数・従業者数ともに卸売・小売業が最も多い

事業所数：41,330事業所



従業者数：509,450人



## 財政(令和元年度当初予算)

全会計予算総額は

**10,066億円**

【参考】

一般会計⇒5,568億円

特別会計⇒3,118億円

企業会計⇒1,380億円

